平成24年12月期　　第1四半期決算短信（非連結）

平成24年5月18日

会　社　名　　株式会社ミック経済研究所
本社所在都道府県　東京都
本社所在地　　東京都港区芝四丁目7番8号　芝サンエスワカマツビル10階
問い合わせ先　　責任者役職名　総務課長
氏　　名　村井　則道　　ＴＥＬ（03）5443－2991

１．平成24年12月期第1四半期の業績（平成24年1月1日～平成24年3月31日）

(注)1.本四半期決算短信の数値は、監査を受けておりません。
2.本四半期決算短信の記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(1) 経営成績

	売上高	営業利益	経常利益
	千円　　%	千円　　%	千円　　%
24年第1四半期	29,669（△7.3）	△1,399（　－）	△1,383（　－）
23年第1四半期	32,027（　4.5）	955（　－）	1,002（　－）

	当期純利益	1株当たり当期純利益金額	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高経常利益率
	千円　　%	円　銭	円　銭	%	%	%
24年第1四半期	△1,406（　－）	△403　63	－　－	△0.8	△0.7	△4.6
23年第1四半期	3,189（　－）	915　07	－　－	1.9	0.6	3.1

(注)　1.期中平均発行済株式数　24年第1四半期　3,485株　　23年第1四半期　3,485株
2.会計処理の方法の変更　　無
3.売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率
4.潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

(2)財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産額
	千円	千円	%	円　銭
24年第1四半期	178,355	162,028	90.8	46,493　17
23年第1四半期	180,932	165,312	91.4	47,435　54

(注)　期末発行済株式数　24年第1四半期　3,485株　　23年第1四半期　3,485株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	千円	千円	千円	千円
24年第1四半期	△1,543	11	―	150,433
23年第1四半期	1,498	7,744	―	148,939

２．平成24年12月期の業績予想（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金（円）				
				第1四半期	中間期末	第3四半期	期末	年間
	千円	千円	千円				円　銭	円　銭
通期	133,000	10,000	6,500	―	―	―	250　00	250　00

（参考）1株当たり予想当期純利益金額（通期）　1,865円14銭

（注）1株当たり予想当期純利益金額(通期)は、第1四半期末現在の発行済株式数が期末まで変動しないと仮定した予想期中平均発行済株式数をもとに計算しています。

平成 24 年 5 月 18 日

第 22 期　第 1 四半期報告書

（平成 24 年 1 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで）

会社名(定款上の商号)　株式会社ミック経済研究所
英文名(英文商号)　MIC RESEARCH INSTITUTE LTD.
代表者の役職氏名　代表取締役社長　有賀　章
本店の所在の場所　東京都港区芝四丁目 7 番 8 号
芝サンエスワカマツビル 10 階
電話番号　03-5443-2991
連絡者　総務課長　村井　則道

Ⅰ　四半期の業績

(1) 損益計算書　（単位：千円）

期別 / 科目	第 22 期 第 1 四半期 自平成 24 年 1 月 1 日 至平成 24 年 3 月 31 日	当期累計 自平成 24 年 1 月 1 日 至平成 24 年 3 月 31 日	前年同期累計 自平成 23 年 1 月 1 日 至平成 23 年 3 月 31 日
売上高	29,669	29,669	32,027
売上原価	22,896	22,896	22,586
売上総利益	6,772	6,772	9,440
販売費及び一般管理費	8,172	8,172	8,485
営業利益又は損失(△)	△1,399	△1,399	955
営業外収益	15	15	47
経常利益又は損失(△)	△1,383	△1,383	1,002
特別利益	－	－	3,885
税引前四半期(当期)純利益又は純損失(△)	△1,383	△1,383	4,888
法人税・住民税及び事業税	△22	△22	△1,699
四半期(当期)純利益又は純損失(△)	△1,406	△1,406	3,189

(注)

期別 / 項目	第 22 期 第 1 四半期 自平成 24 年 1 月 1 日 至平成 24 年 3 月 31 日	当期累計 自平成 24 年 1 月 1 日 至平成 24 年 3 月 31 日	前年同期累計 自平成 23 年 1 月 1 日 至平成 23 年 3 月 31 日
期中平均発行済株式数	3,485 株	3,485 株	3,485 株
1 株当たり四半期(当期)純利益又は純損失(△)	△403 円 63 銭	△403 円 63 銭	915 円 07 銭
潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益	－円－銭	－円－銭	－円－銭

株式会社ミック経済研究所

(2) 事業部門別売上高

（単位：千円）

期別 / 事業の種類	第22期 第1四半期 自平成24年1月1日 至平成24年3月31日	当期累計 自平成24年1月1日 至平成24年3月31日	前年同期累計 自平成23年1月1日 至平成23年3月31日
調査・出版事業	29,669	29,669	32,027
その他事業	―	―	―
合計	29,669	29,669	32,027

(3) 貸借対照表

（単位：千円）

期別 / 科目	第21期末 (平成23年12月31日現在)	第22期 第1四半期末 (平成24年3月31日現在)
（資産の部）		
Ⅰ流動資産		
1. 現金及び預金	151,964	150,433
2. 売掛金	22,552	22,767
3. 製品	532	512
4. 貯蔵品	32	32
5. 前払費用	1,558	1,411
6. 繰延税金資産	20	―
7. 貸倒引当金	△135	△135
流動資産合計	176,526	175,021
Ⅱ固定資産		
1. 有形固定資産		
(1) 工具器具備品	122	113
有形固定資産合計	122	113
2. 無形固定資産		
(1) 電話加入権	424	424
無形固定資産合計	424	424
3. 投資その他の資産		
(1) 長期前払費用	89	77
(2) 敷金・保証金	2,718	2,718
投資その他の資産合計	2,807	2,795
固定資産合計	3,354	3,334
資産合計	179,880	178,355

科目 ＼ 期別	第21期末 (平成23年12月31日現在)	第22期 第1四半期末 (平成24年 3月31日現在)
(負債の部)		
Ⅰ流動負債		
1. 未払金	439	444
2. 未払費用	4,034	5,096
3. 未払法人税等	434	―
4. 未払消費税等	1,104	1,180
5. 預り金	3,590	2,762
流動負債合計	9,601	9,482
Ⅱ固定負債		
1. 役員退職慰労引当金	6,844	6,844
固定負債合計	6,844	6,844
負債合計	16,445	16,326
(純資産の部)		
Ⅰ株主資本		
1. 資本金	53,000	53,000
2. 資本剰余金		
資本準備金	632	632
資本剰余金合計	632	632
3. 利益剰余金		
(1)利益準備金	12,618	12,618
(2)その他利益剰余金	97,185	95,778
別途積立金	15,000	15,000
繰越利益剰余金	82,185	80,778
利益剰余金合計	109,803	108,396
株主資本合計	163,435	162,028
純資産合計	163,435	162,028
負債純資産合計	179,881	178,355

(注)

項目 ＼ 期別	第21期末 (平成23年12月31日現在)	第22期 第1四半期末 (平成24年 3月31日現在)
発行済株式総数	3,485株	3,485株
1株当たり純資産額	46,896円80銭	46,493円17銭

(4) 株主資本等変動計算書

（単位：千円）

項　　目	株主資本						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金				株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	
				別途積立金	繰越利益剰余金		
平成23年12月31日残高	53,000	632	12,618	15,000	82,185	109,803	163,435
第1四半期中の変動額							
剰余金の配当	－	－	－	－	－	－	－
第1四半期純損失(△)	－	－	－	－	△1,406	△1,406	△1,406
第1四半期中変動額合計	－	－	－	－	△1,406	△1,406	△1,406
平成24年3月31日残高	53,000	632	12,618	15,000	80,778	108,396	162,028

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

１．固定資産の減価償却の方法
　各四半期の減価償却費は、年間発生見積額の1/4に相当する金額を計上しております。
２．消費税等の会計処理
　仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ流動負債の未払消費税等として表示しております。
３．記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

なお、当第1四半期の貸借対照表及び損益計算書並びに株主資本等変動計算書については、会計監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

Ⅱ　第 22 期 第 1 四半期（平成 24 年 1 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで）の業績の概況

国内景気は、本年に入って為替が円安方向に転じて企業収益が改善され、自動車産業を中心に回復してきております。しかし、今後については電力不足による生産活動の停滞や不安定な為替レートなどの懸念があり、国内の設備投資に対していまだ慎重です。更に、当社のドメインとするＩＣＴ分野におきましてはコスト削減が主要テーマの一つになっており、依然とマーケティング予算に対してシビアです。

先行きを見通しにくい不透明なＩＣＴ市場の影響を受け、第 1 四半期の売上は 7.4%減と低調でした。しかし、マーケティング予算は景気に対して遅効性があり、2012 年通期としては前年度を上回る業績を達成できると予測しております。

これを事業別にみますと、自社企画資料の売上につきましては、4 月発刊計画を前倒ししたことと、2012 年 3 月決算のマーケティング予算消化があり、非ＩＣＴ分野の資料を含めて前年同期比 33.5%増と急増しました。当社の自社企画資料の単価は 199, 500 円（税込）と業界のプライスリーダーとなっており、市況が好転してくると売上効果が大きく表れます。

一方、受託調査の売上につきましては、前年同期にあった大型案件がなくなり、40.2%の大幅な減少でした。前年同期はリーマンショックからの回復の兆しが出てきたところに東日本大震災により出鼻を挫かれ、以降、受託調査の新規大型案件は無くなりました。2012 年 4 月以降、見積依頼件数が増えてきており、2012 年 7 月の下期以降には回復してくると予測しています。

これらの結果、当第 1 四半期の総売上高につきましては、29,669 千円（対前年同期比 7.4%減）となりました。利益につきましては、営業損失 1,399 千円（前年同期営業利益 955 千円）、経常損失 1,383 千円（前年同期経常利益 1,002 千円）、四半期純損失 1,406 千円（前年同期純利益 3,189 千円）と赤字となりました。原因は、経費削減には鋭意努めていますので、全て売上高の減収によるものです。

Ⅲ　第 22 期通期の売上高及び利益の予測について

第 22 期通期の売上高及び利益の予測につきましては、第 22 期決算発表時点の売上高 137,000 千円（前年比 8.1%増）を 133,000 千円（前年比 5.0%増）に修正します。経常利益 10,000 千円（前年比 11,520 千円増）、当期純利益 6,500 千円（前年比 5,189 千円増）の予測はそのままです。

Ⅳ　資金及び借入金の状況

(1) 現金及び預金の増減

（単位：千円）

期別 / 科目	第 22 期　第 1 四半期（自平成 24 年 1 月 1 日 至平成 24 年 3 月 31 日）
現金及び預金の増減額	△1,531
現金及び預金の四半期首残高	151,964
現金及び預金の四半期末残高	150,433

（主な増減理由）

税引前四半期純損失により 1,406 千円の減少、預り金の減少により 827 千円の減少、未払費用の増加により 1,062 千円の増加、未払法人税の減少により 434 千円の減少したことが主な要因です。

(2) 短期借入金の増減

該当事項はありません。

(3) 長期借入金の増減

該当事項はありません。

V　その他

該当事項はありません。